

合同説明会，パブリック・コメントの実施結果について

1 合同説明会

日 程 令和5年12月23日（土）10時30分から12時まで
会 場 調布市総合福祉センター2階会議室
参加者 17人
意見等 なし

2 パブリック・コメント

日 程 令和5年12月20日（水）～令和6年1月19日（金）
場 所 高齢者支援室，公文書資料室，神代出張所，市民活動支援センター，みんなの広場，総合福祉センター，市内各図書館・公民館・地域福祉センター（染地・調布ヶ丘除く），教育会館
提出方法 直接，郵送，FAX，メール，インターネット専用フォーム
参加者 10人
意見等 23件

【意見等の概要】※実施結果の報告時は，原文のまま掲載

- ・推進協に高齢者自身や認知症の当事者などが協議に参加できるようにして欲しい。高齢者の計画であり，高齢者抜きで議論を進めないでほしい
- ・介護予防（フレイル），認知症施策，虐待防止・権利擁護については，それぞれの課題の根底に喫煙の問題がある。禁煙や受動喫煙防止に係る啓発等を各施策に盛り込むべき
- ・第9期のテーマはいいが，今後は福祉の担い手減少，施設不足，年金減少，高齢者にとって厳しい時代を迎える。介護従事者の就労改善は進むのか。結局は，元気高齢者の増加，介護予防，地域の活動が活発になることが大切か。包括がもっと増えるといい
- ・「健康寿命」は介護や健康保険などの負担軽減とも関連する。共に運動する場，おしゃべりする場，活動できる場が，身近にあって気軽に利用できるといい。また，施設の稼働が非常に高く，気軽に利用できる場所を各所に設ける事もよいのではないか。健康寿命の視点での取組推進を
- ・介護保険制度の破綻が言われているが，計画からはその深刻さが伝わらない，市民への真実の隠蔽・問題の先送りをしている
- ・福祉3計画のパブコメの実施期間及び合同説明会の周知方法について改善を

- ・市にこれだけの福祉政策がありながら、市民側は、自身や親族が高齢化問題に直面しない限り、サービスを知ろうとしない場合が多い。少しは知っている、どこに聞けば（頼れば）よいか分かるような中間層を増やしていくことが大事
- ・「くらしの案内 シルバー編」を計画内で紹介すべき。また、高齢者世帯に配布希望
- ・介護保険やそれ以外の高齢者サービスについて、出前講座や市による学習会等の開催を希望。高齢者は困りごとの相談会などに出てこない傾向があり、市で主催して、教室などで市民同士がフランクに聞けるようにすれば良い
- ・市民の経済的な状況を行政が把握し、相談に乗るという仕組みがあれば良い。経済状況が苦しい場合は、介護予防リスクやうつ傾向が高い等あれば、アンケートを使って具体的な支援につなげるべき。困窮者の把握、相談、方策を講じるべき
- ・総合福祉センターの移転中止・計画撤回
- ・第9期取組・指標は実効性のある表記・選定、誤解を招かないような記載にすべき
- ・災害、感染症等への備えは、原案だけでは不十分
- ・介護保険制度の厳しい状況は理解できるが、制度全般への適切な対応を今まで以上にお願いしたい。介護需要の高まりが見込まれる中、サービスの安定供給、サービスの質の向上、介護人材確保・育成・支援、介護職の魅力向上、ハラスメント対策等も重要だが、賃金・待遇改善が最も求められている。市として最大限努力してほしい
- ・介護保険の危機に対する市の考え・備えについての記述が少ない。財政問題についての深刻さを先送りするのか、市民に知らせないのか、との疑問が残る。国全体で人材不足に対する介護報酬や介護保険料の改定が検討されている。低所得者が介護を受けられなくなる、制度自体が破綻するという問題は、調布市も例外ではない
- ・介護保険料は、介護人材を確保するものでなければならない。ただし、介護保険料の引き上げは高齢者の生活を圧迫する。市全体の予算を調整し、福祉を切り捨てないこと
- ・子供や若者は高齢者への接し方を知らない。お金・介護任せにしてしまう。サギも多い。みなで仲良く生きる方法が大切
- ・ワンコイン入浴券の回数拡充
- ・運転免許証返納に伴うサービスの充実
- ・シルバーパスの所得段階別負担の多段階化
- ・紙の健康保険証の維持
- ・予算規模や市予算に占める割合など記載希望
- ・元号と西暦の併記